

木蓮

時は金なり

6月10日の時の記念日は、大正9年(1920)時間の尊重や時刻厳守の励行を目的に制定されました。日本では671年4月25日(太陽暦の6月10日)に天智天皇が「漏剋(ろうこく)」と呼ばれる水時計を作り、人々に時刻を知らせたことから始まったということです。『日本書紀』には「漏剋(ろうこく)を新しき台に置く」とあります。

この記念日にふさわしい金言は時間の貴重さを金銭に換算した「時は金なり」でしょう。これは英語(Time is money)の翻訳です。似た意味の中国の成句に「一刻千金」があります。「時」の語源には諸説ありますが、時間・時代・時刻・刻限・時機のすべてに共通するのは、早く過ぎることです。よって、「疾き(とき)」の意が有力でしょう。お金も時間もたちまち消えます。

「疾き(とき)は金なり」。あなたの時間を有意義なものにするため金商図書館は良書を用意しています。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

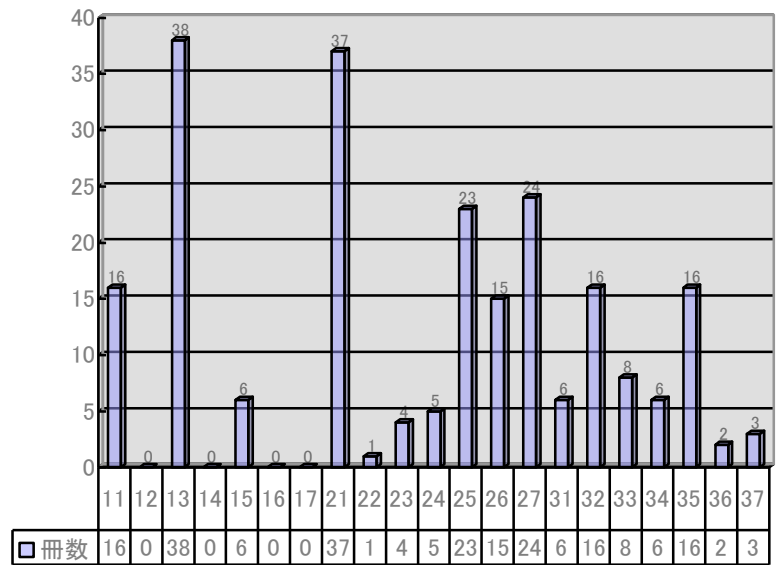
新着雑誌

『SportsGraphic Number』



●幅広く様々なスポーツを紹介する総合スポーツ誌。汗と涙。ヒーローたちに会える。

図書館利用統計【5月1日~5月31日】



5月の図書貸し出し総数は226冊でした。開館日数は19日で、1日平均にすると約11.9冊の貸し出しです。学年別では3年生が57冊、2年生が109冊で、1年生は60冊でした。入館者の総数は1,498人で、1日平均約79人の利用でした。図書館での授業は13時間ありました。新しく購入する図書の希望も受け付けています。読書で自分をレベルアップしましょう!

図書委員がすすめる

読んで得するテッパン本

『クジラの彼』 有川 浩著

短編が6つ入っていておもしろい。どれもよかったけど、『クジラの彼』という話が特にいい。いろんなところで、国家と国民のために、一般人が想像できないような大変な環境で任務に就いている人がたくさんいるんだなあ...ということがわかった。緊迫感たっぷりの作品なのにハッピーエンドでほほえましい。大笑いもできます。新感覚な小説。(32H 佐藤)

『はだしのゲン』 中沢啓治著

この本は、中沢啓治による、自身の原爆の被爆体験を元にした漫画です。この作品を原作として実写映画やアニメ映画・テレビドラマも制作されているので知っている人も多いと思います。激動の時代を必死に生き抜こうとする主人公中岡ゲンの姿が描かれていて、戦中戦後の歴史がよくわかります。

(33H 畑下・田中)

『ヴィヨンの妻』 太宰治著

作者を髭髯させる、元男爵の次男の妻「さっちゃん」の視点で、大谷と彼を取り巻く人々の言動が綴られています。戦後の家族を多様に描いていておもしろいです。(36H 東真帆)

お知らせ

文化講話 ～POPのチカラ～
を開催します!

日時: 6月14日(金) 放課後3時40分
会場: 4階学習室

講師: 北国書林松任店 山千春さん
*希望者は誰でも参加できます。達人にPOPを学んでみませんか?